



白鳳点描

経験を積み重ねて、次へ!

校長 川本 幸則

台風の通過とともに一気に秋がやってきた感じがあります。朝夕は過ごしやすい気候となりましたが、急激な変化で体がついかず、体調を崩さないように気を付けています。

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の流行がやっと縮小傾向になってきました。しかし、新規感染者数は、従来株の時に比べ大変多く、予断を許しません。そんな中、5年生の野外活動を、9月8日(木)、9日(金)に付知峡森林キャンプ場で実施しました。夏休み中は、感染症対策での延期や、実施した場合の様々な状況を想定して対応方法をいろいろと考えていました。そして、9月に入り、感染拡大が高止まりから減少傾向が見え始めた状況での実施となりました。

感染症が出現する前と比較して制限があることに加え、天候不順で予定変更をしながらの活動でしたが、子どもたちは集団生活や施設のルールを守りながら、プログラムに主体的に取り組み、充実した時間を過ごすことができました。特に、キャンプファイヤーでの一体感は素晴らしいものでした。5年生の保護者の皆様は、子どもたちから様々な思い出話をお聞きになったことと思います。仲間と同じ時間を同じ場所で過ごし、互いに相手のことを気遣い、協力して生活できたこと、体験できたことは子どもたちにとって大きな学びとなったと感じています。また、子どもたちの力を改めて感じた二日間でもありました。



2学期は、各学年で学校から離れ、校外での学習が予定されています。自分の目で見て、聞いて、感じて、本物を肌で感じるとともに、校外での仲間との生活を通して成長してほしいと願います。

また、今年度はお隣の長久手市に「ジブリパーク」の開園にあたり、優先予約の該当校として愛知県から案内がありましたので、全ての学年で出かけることとしました。日本中から注目されている施設に出かけ、アニメで多くの人を魅了するスタジオジブリの世界を体験し、自分の夢や希望などにつなげてほしいと思います。

感染症について、知見が集積され対応が変化していますが、基本的な感染予防対策は変わりありません。引き続き、安全で健康な生活ができるようにしていきましょう。